

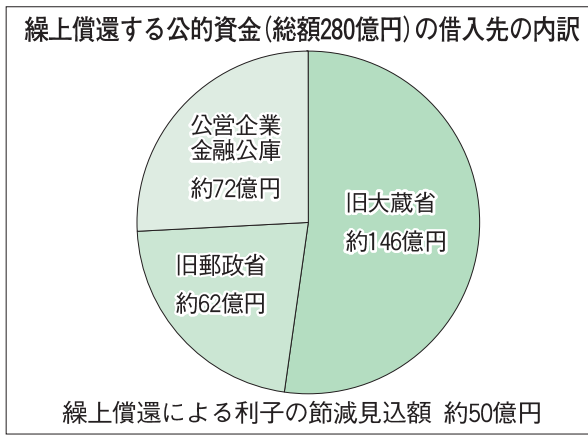
況で行政需要を満たすための有効な対策である。景況見通しに先行き不透明感がある中で、財政の継続性や安定運営を図る観点から、基金の有効活用と積み立てのバランスをとることが重要と思うが、基金運用の考え方は。

**答** 20年度予算では、財政調整基金を20億円、職員退職手当基金を7億円など約30億円の基金を繰り入れる。基金の充実を図ることは、各種施策や事業を安定的かつ継続的に推進するために欠かせないと考えており、今後も、将来の財政需要や収支見通しを踏まえ、可能な限り基金の造成に努めるとともに、計画的な活用を図っていく。

**高金利の公的資金の繰上償還 (誠友会)**

**問** ①多くの自治体が国に求めている高金利の公的資金の繰上償還は、19年度から21年度までに補償金免除で認められた。3年間の繰上償還の対象となる公的資金総額と借入先別の金額、

繰上償還による利子の節減見込み額と20年度の節減額は。②繰上償還に必要な資金調達は、市中金融機関からの借り入れによる実質的な借り換えもあるが、その借り入れ予定額は。また、資金調達の方法は競争入札なども考えているのか。



**答** ①繰上償還は、総額で約280億円を見込んでおり、借入先の内訳は旧大蔵省から約146億円、旧郵政省から約62億円、公営企業金融公庫から約72億円、利子の節減額は全体で50億円程度の見込みである。20年度は約4億2800万円の利子の節減になると

見込んでいる。②繰上償還の財源となる借換債は、20年度は約107億円を予定しており、競争入札などの手法も現在検討している。

◇関連質問

- ・今後の公債費対策の取り組みと市債残高の推移 (公明党)
- ・公債費対策について (新政クラブ)

**福山駅前広場整備について (水曜会)**

**問** 福山駅前広場の交通渋滞解消や交通結節点としての機能向上を図ることは、喫緊の課題である。すでに、福山駅西町線や福山駅南有料自転車駐車場が供用開始され、駅前広場の整備も進んでいるが、地下送迎場の工事の進捗状況は。また、駅前広場のバスやタクシー乗降場などの整備の今後のスケジュールと内容は。

**答** 福山駅前広場整備地下送迎場工事は、現在、一部の地盤改良などを済ませ、第二次埋蔵文化財発掘調査を実施しており、進捗率は1月末で約17%である。また、

地上部のバスやタクシー乗降場などの整備は、地下送迎場工事の本体工事や埋め戻し工事の進捗状況を見ながら引き続き取り組み、早期完成に努める。

◇関連質問

- ・福山駅前広場整備と福山城遺構について (公明党)
- ・福山駅周辺地区整備事業について (新政クラブ)

**地方議会と長の関係 (誠友会)**

**問** 先日開催された県東部地区議員研修会で、地方議会と長の関係は、国の議員内閣制に見られるような与党・野党の関係は制度上存在せず、それぞれが住民の代表であって、対等な関係にあるという講演があった。市長は、議会に対して市長与党・野党の存在や認識を持っているか。

**答** 議会と市長の関係は、国の議員内閣制とは異なり、けん制と調和に基づく市政運営が基本で、地方議会では与党・野党という概念はなじまないものと考えている。

\*補償金免除：これまでは、公的資金を償還期限前に繰り上げて償還する場合には、国が損失を受ける額(将来受け取る予定の利息相当額)を補償金として支払う必要があった。